

中越地震をのりこえて

淡海小学校 五年 根津 郁美

去年の十月二十三日、午後五時五十六分、
ちょうど去年の学習発表会の夕がたに新潟県
中越地震がきました。夕食前私はのんびりと
こたつにもぐってゲームをしていました。
とつ然つき上げるようになったと思ったら、
家がはげしくゆれました。生まれて初めての
ひどいゆれに、私はこたつにもぐりました。
にびなくてはと立ち上がりましたが、歩くこ
ともできません。家の柱につかまっていたし
た。停電になり、ますますこわくなりました。
にびる時は、もうけんかんの戸がたおれて
いたので、ろうかの戸からにびました。寒さ
のためかこわさのためか体がふるえていまし
た。でも、みんないっしょなので少しずつ落
ち着きました。夕飯がまだだったので、おな
かがすいていたけど、気持ちが悪く落ちつかなく
て食べる気がしませんでした。

その晩は車の中でねました。車の中はせま
い上に、またいつ地震がくるかと思うと不安
でねられませんでした。

次の日の朝、家を見ると私の家はかたむい
ていました。そのためか、いろんな人が私の
家を見にきていました。うそみたいで夢みた
いだなと思いつながら、私も家を見ていました。
私の家は全かいでした。

雪がふる前にかたむいた家をこわしました。
古い家を大きな機械でこわす時、おばあち
ゃんは涙を流していました。おばあち
ゃんには
きつと、この家とともにたくさん
の思い出が
あつたのだと思いました。

九月になつて新しい家に入れることが決ま
つてうれしかつたです。こわれた家から荷物
を出す時も新しい家への引こしの時も、親
せきの人たちが手伝つてくれました。ありが
たかつたです。

これからも地震に負けずに家族や地域の人
と力を合わせてがんばります。